

平成 26 年 2 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社メディビックグループ
代表者名 代表取締役社長 喜多見 浩次
(コード番号 2369 : 東証マザーズ)
問合せ先 執行役員管理本部長 窪島 肇
(Tel : 03-3222-0132)

第三者割当による新株式発行に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 2 月 28 日開催の取締役会において、第三者割当による新株式（以下、「本株式」といいます。）の発行（以下、「本資金調達」といいます。）について決議いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

I 第三者割当により発行される新株式

1. 募集の概要

<新株式発行の概要>

(1) 払 込 期 日	平成 26 年 3 月 17 日
(2) 発 行 新 株 式 数	普通株式 850,000 株
(3) 発 行 価 額	1 株につき 356 円
(4) 調 達 資 金 の 額	302,600,000 円 (差引手取概算額 : 290,000,000 円)
(5) 資 本 組 入 額	151,300,000 円
(6) 資 本 組 入 額 の 総 額	151,300,000 円
(7) 募 集 又 は 割 当 方 法 (割 当 予 定 先)	ロート製薬株式会社 (以下、「ロート社」といいます。) 850,000 株
(8) そ の 他	前記各号については、金融商品取引法に基づく届出の効力発生を条件とします。

(注) 本新株式の発行要項を末尾に添付しております。

2. 募集の目的及び理由

当社グループは、平成 25 年 9 月に株式会社アニマルステムセル (以下、「アニマルステムセル社」といいます。) を完全子会社化することにより、再生医療市場に参入しました。現在、アニマルステムセル社は犬の脂肪由来幹細胞 (以下、「幹細胞」といいます。) による医師主導型臨床試験の運営及び治験薬 (幹細胞) の製造を主な事業として展開しております。

アニマルステムセル社が有する治験薬レベルの品質による培養技術は、ヒトの幹細胞においても大きなアドバンテージとなります。そこで、幹細胞のヒト医療市場への進出を前提として、大量培養自動装置 (以下、「本装置」といいます。) の開発に努めてまいりました。

再生医療は、国内のみならず世界的に産業化されつつある分野ではありますが、製剤化するための大きな課題の一つが、「均一品質で安全かつ大量に幹細胞を培養する方法」です。従来、薬は化合物が中

心でした。化合物は化学式にて明確に定義され、その合成方法が決定されれば、大量かつ安定的に製造することが可能です。しかし、幹細胞は生き物ですので化合物のように簡単にはできません。換言すれば、化合物はデジタルであり、幹細胞はアナログと表現できます。

この課題を解決するために、多くの装置メーカーでは培養工程をロボットが自動化することを前提として開発しております。この自動化とは、ヒトが行う動作をロボットに置き換えることです。

一方、アニマルステムセル社が開発してきた本装置では、幹細胞を大量に増やすための培養技術及びその工程を開発し、その新規性・進歩性については特許申請を準備しております。現在、本装置のプロトタイプを開発中であり、今後その開発スピードをさらに加速していく計画です。

本装置の開発には、ソフト面では生物学的な実験と分析、試薬の開発、ハード面（本装置関連）では、各工程の専用装置、それに伴う金型設計、制御システムなどがあります。本資金調達の際は、これらの開発費に充ててまいります。

再生医療分野は世界的に競争が激しく、スピードが最優先されます。幹細胞の大量培養のニーズは、世界的に拡大しており、早期の実現が望まれている為、アニマルステムセル社では、本資金調達をもとに本装置の開発を加速化させます。

【本資金調達方法を選択した理由】

当社は、この度の資金調達に際して、銀行借入、社債、公募増資、株主割当増資等の資金調達手段を検討いたしました。当社の現況において、間接金融（銀行借入及び社債）による資金調達は、与信枠や借入コストの問題もあり、また自己資本比率の低下を招くとの理由から、事実上調達困難な状況でございます。そのため、既存株主の皆様の株式の希薄化というリスクを懸念しつつも、直接金融に依拠せざるを得ない状況であります。そこで、数あるエクイティ・ファイナンス手法から資金調達手法を選択するにあたり、昨今の相場環境に鑑みて、既存株主の皆様の利益に充分配慮した仕組みを備えた手法であるかどうかを重視して以下の資金調達方法を検討いたしました。

公募増資及び株主割当増資については、調達に要する時間及びコストも第三者割当による株式の発行より割高であること、過去連続して赤字を計上している当社の業績や無配が続いている現状及び昨今の金融情勢・資本市場の状況を勘案した結果、今回の資金調達方法として適当ではないと判断いたしました。

また、平成 26 年 2 月 13 日に発表しております「平成 25 年 12 月期決算短信」におきましても経常損失を計上しており、自己資本の毀損が避けられない状況にあり、確実な資本増強策が求められております。

この点、今回の割当予定先に対する本新株式の発行による資金調達方法は、一括での払い込みにより当社の当面の継続的な設備拡充資金及び研究開発資金を調達したいというニーズを充足し得るものであり、現時点における最良の選択肢であると判断し、その発行を決議いたしました。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額

調達する資金の総額	302,600,000 円
発行諸費用の概算額	12,600,000 円
差引手取概算額	290,000,000 円

(注) 1. 発行諸費用の概算額には、消費税等は含まれておりません。

2. 発行諸費用の概算額の内訳は、候補先の属性調査（4,000,000 円）、弁護士費用等（5,600,000 円）、登録免許税等（3,000,000 円）で、概算 12,600,000 円を予定しております。

(2) 調達する資金の具体的な使途（予定）

具体的な使途（予定）	金額 (百万円)	支出予定時期
① 自動培養装置ハード開発	90	平成26年3月 ～ 平成27年12月
② 自動培養装置制御ソフト開発	75	平成26年3月 ～ 平成27年12月
③ 培養容器開発	45	平成26年3月 ～ 平成27年12月
④ ガイドライン・国際標準化への対応及び試験	80	平成26年6月 ～ 平成27年12月

① 自動培養装置ハード開発：90 百万円

幹細胞の製造工程は、品質・安全性・機能性を均一に保つ必要があり、この条件をクリアしないと、再生医療の臨床現場で幹細胞を利用することは困難です。人手で幹細胞の製造を行う場合、作業者の技術スキルによる品質の差異や、人手が介在することで汚染の危険性が払拭できません。本装置では“自動化（無人化）”により、品質・安全性・機能性を確立しますが、本装置のハード開発として平成26年3月から平成27年12月までに90百万円を充当する予定であります。本装置の開発コンセプトに関する検証試験は平成26年1月時点で既に終了しており、2月から実機の作製に入ります。

② 自動培養装置制御ソフト開発：75 百万円

幹細胞の製造工程は、分離・培養・品質確認など様々な作業が入り組んでおり、自動培養装置でハード的に製造工程が再現できたとしても、人手を介さずに作業プロセスを制御し、その操作履歴を記録・再現するためには、ソフトウェアが必要となります。ソフトウェアの開発に平成26年3月から平成27年12月までに75百万円を充当する予定であります。

③ 培養容器開発：45 百万円

無菌環境（雑菌汚染防止）を維持し、大量の幹細胞培養を実現する容器の開発を行います。容器の開発には、培養に最適なデザイン設計・金型設計・品質試験などが必要となりますが、この開発に平成26年3月から平成27年12月までに45百万円を充当する予定であります。

④ ガイドライン・国際標準化への対応及び試験：80 百万円

再生医療に関連する次世代医療機器の設計ガイドラインや標準化・ルール作りが、国内のみならずグローバルでも急速に進んでいます。本装置は、再生医療の臨床現場で使用される幹細胞の自動大量培養を目指していることから、国内外審査機関での承認審査を視野に入れていきます。この対応および申請に必要な試験対応として平成26年6月から平成28年12月までに80百万円を充当する予定であります。

なお、調達資金を実際に支出するまでは、当社グループの銀行口座にて管理いたします。

当社グループは、上記項目への資金の活用により早期の事業化を図ると同時に、中長期の事業構築の動きを確実にを行うことで永続企業としての礎を築き、株主をはじめとするステークホルダー各位のご期待に応られるものと考えております。

4. 資金使途の合理性に関する考え方

当社は、この度調達した資金により、再生医療分野における中長期的な企業価値の向上を図ることを目的としており、かかる資金使途は合理的であると判断しております。従いまして、今回の資金調達は、中長期的な企業価値の向上により既存株主の皆様の利益にも資するものと考えております。

5. 発行条件等の合理性

(1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

本件発行価格につきましては、本第三者割当増資の決定に係る当社取締役会決議日の直前取引日（平成26年2月27日）までの最近1ヶ月間、3ヶ月間、6ヶ月間に株式会社東京証券取引所マザーズ市場における当社株式の普通取引の終値株価の単純平均値（1ヶ月間終値平均356円、3ヶ月間終値平均346円、6ヶ月間終値平均367円）と、取締役会決議の直前取引日に株式会社東京証券取引所が公表した当社株式の終値（395円）を比較して、最も高い金額である、本第三者割当増資の決定に係る当社取締役会決議日の直前取引日に株式会社東京証券取引所が公表した当社株式の終値395円に0.9を乗じた金額である1株356円に決定いたしました。

上記期間を算定の基準としましたのは、今回の本第三者割当により発行される株式数、当社の業績の動向、当社株式の株価の推移、売買出来高水準、市場全体の環境等を勘案し、既存株主にも配慮して決定いたしました。

なお、0.9を乗じた理由については、日本証券業協会「第三者割当増資の取り扱いに関する指針」（平成22年4月1日制定）を参考にしつつ、直近取引日一週間においても当社株価が大きく変動していることを踏まえた当社株価の変動状況、財務状況や業績見込、事業環境等を総合的に勘案するし、割当予定先と十分協議の上、決定いたしました。

当該払込金額は、第三者割当の決定に係る当社取締役会決議日の直前取引日の終値395円に対しては約9.9%のディスカウント、直前取引日までの過去1ヶ月間の終値の単純平均値である356円に対しては同額、過去3ヶ月間の終値の単純平均値である346円に対しては約2.9%のプレミアム、過去6ヶ月間の終値の単純平均値である367円に対しては約3.0%のディスカウントとなっていることから、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」（平成22年4月1日）にも準拠しており、特に有利な金額に該当するものではないと判断しております。

また、当社監査役全員から、上記算定根拠による発行価格の決定は、当社株式の価値を表す客観的な値である市場価格を基準とし、かつ日本証券業界の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠して算定されたものであり、当社の直近の財務状態および今後の再生医療事業方針を勘案していることから、本新株式の発行価格が特に有利な金額には該当せず適法である旨の見解を受けております。

以上のことから、本新株式の発行価格は、適正かつ妥当な価格であり、有利発行には該当しないものと判断いたしました。

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

今回の第三者割当により発行される本新株式は850,000株であり、平成26年2月28日現在の当社発行済み株式総数28,209,820株に対して、3.01%（議決権総数282,089個に対しては3.01%）となります。また平成25年10月7日に株式会社夢真ホールディングス等を割当先とする第三者割当増資（以下、

「前回第三者割当増資」という。)により発行した当社普通株式1,955,100株との合計数は2,805,100株となり、前回第三者割当増資決議前の当社発行済株式総数である26,254,720株に対して10.68%（議決権総数262,254個に対しては10.70%）となります。これにより既存株主におきましては、株式持分及び議決権比率が低下いたします。また、1株当たり純資産額が低下するおそれがあります。

しかしながら、前述のとおり、今回の資金調達の主たる目的である再生医療事業分野への投資は、当社がこれまで培ってきた既存事業との相乗効果が見込まれ、かつ安倍政権が推進する成長戦略の一つである医療分野の大きな柱である再生医療事業（2013年4月に成立した再生医療推進法に続き、薬事法改正案、再生医療安全性確保法案が閣議決定されております）であることから、急速な市場拡大が期待できる分野に進出する事になります。このタイミングでの再生医療事業への参入は、継続的安定的に収益を計上する企業へとなるために欠かせない投資であり、当社の今後の事業拡大や企業価値の向上に寄与するものと考えております。

また、当該割当予定先より、当社の今後の事業戦略を中長期的に評価し、株式の保有を行っていく旨を確認していることなどから、今回の希薄化が流通市場に与える大きなインパクトはないと考えております。

以上の理由により、当社といたしましては、本資金調達は、企業価値、株主価値の向上に寄与するものと見込まれ、既存株主の利益にも資するものと判断しており、今回の発行数量及び株式の希薄化規模は合理的であると考えております。

6. 割当予定先の選定理由等

(1) 割当予定先の概要

(1) 名 称	ロート製薬株式会社	
(2) 所 在 地	大阪府大阪市生野区巽西 1-8-1	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長 山田 邦雄 代表取締役社長 吉野 俊昭	
(4) 事 業 内 容	医薬品・化粧品・機能性食品等の製造販売	
(5) 資 本 金 の 額	6,408百万円（平成25年3月31日現在）	
(6) 設 立 年 月 日	昭和24年9月15日	
(7) 発 行 済 株 式 数	117,924,768株（平成25年3月31日現在）	
(8) 決 算 期	3月31日	
(9) 従 業 員 数	5,518名（連結）1,485名（単体）（平成25年3月31日現在）	
(10) 主 要 取 引 先	(株)大木 アルフレッサヘルスケア(株) (株)Platac	
(11) 主 要 取 引 銀 行	三井東京UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行	
(12) 大株主及び持株比率 (平成25年3月31日現在)	日本マスタートラスト信託銀行(株)	9.50%
	日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	7.91%
	(有)山田興産	3.45%
	(株)三菱東京UFJ銀行	3.22%
	山昌興産(株)	2.97%

(13) 上場会社と当該会社との関係等	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社との間には、特筆すべき資本関係はありません。		
	取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社との間には、特筆すべき取引関係はありません。		
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社との間には、特筆すべき人的関係はありません。		
	関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。		
(14) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態				
決算期	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期	
連結純資産	77,911	83,627	93,771	
連結総資産	126,472	136,008	150,643	
1株当たり連結純資産(円)	655.53	703.93	789.83	
連結売上高	115,472	120,292	129,146	
連結営業利益	13,105	13,624	14,380	
連結経常利益	13,293	13,684	14,730	
連結当期純利益	7,966	8,184	8,087	
1株当たり当期純利益(円)	67.75	69.60	68.78	
1株当たり配当金(円)	15.00	16.00	17.00	

(単位：百万円。特記しているものを除く。)

※当社は、ロート社について、株式会社東京証券取引所に上場していることから、東京証券取引所に提出している「コーポレートガバナンス報告書」に記載している「内部統制システム等に関する事項」を確認し、上記各割当予定先、その役員及び主要株主が、暴力若しくは威力も用いまたは詐欺その他の犯罪行為を行うことにより経済的利益を享受しようとする個人、法人その他の団体（以下、「反社会的勢力」という）ではなく、かつ、反社会的勢力と何ら関係を有するものではないと判断しております。

(2) 割当予定先を選定した理由

当社を取り巻く現在の経営環境及び当社の財政状況を鑑み、公募増資や銀行等の金融機関からの借入による資金調達に極めて厳しい状況にあるとの認識のもと、現在当社にて事業展開している再生医療分野における開発中の大量自動培養装置の早急な商品化が必要不可欠であると判断して第三者割当増資による資金調達についてこれまで模索してまいりました。

学会等において、当社の再生医療事業への取組みや研究成果について発表をし、事業や成果の理解浸透の活動を行った結果、製薬企業や素材メーカーなどから共同研究や事業連携に興味を持っていたくに至りました。複数社に当社の説明および再生医療の事業戦略や特許戦略を説明し、意見交換等を重ねたところ、再生医療分野における新たな医療機器・技術の開発においては、実用化までを見据

えた環境整備が必要であると当社では考え、長年医療・健康分野で製造・販売事業を推進されておりますロート製薬株式会社（以下ロート社といいます。）を割当先と選定することは、当社の企業価値の向上に繋がるものと判断いたしました。

ロート社は、既に再生医療分野に本格進出されており、幹細胞の実用化を目指している点が、当社との親和性が高いと判断いたしました。

（3）割当予定先の保有方針

当社は、本第三者割当増資により発行される株式について、割当予定先が当社の今後の事業戦略を理解して本件の割当予定先となった経緯の中で、中長期の保有を行う方針であることを確認しております。さらに、割当予定先が発行日より2年以内に交付される当社株式を譲渡した場合には、直ちにその内容を当社に書面にて報告する旨、当社が当該報告内容を株式会社東京証券取引所に報告する旨及び当該報告内容が公衆縦覧に供されることに同意する旨の確約を得る予定です。

（4）割当予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

当社は、割当予定先であるロート社の平成24年4月1日から平成25年3月31日に係るロート社が公表しているの第77期事業報告書を確認し、その損益計算書により、当該期間の売上高が129,146百万円、経常利益が14,730百万円、当期純利益が8,087百万円であること、また、貸借対照表により、平成25年3月31日現在の現金及び現金同等物残高の残高が19,868百万円であり、一方、長期借入金が1,578百万円であることを確認し、払込みに必要な財産の存在を確認いたしました。

7. 募集後の大株主及び持株比率

募 集 前 (平成25年12月31日現在)			募 集 後 (本新株発行後)		
株式会社リゾート&メディカル	4,000,000	14.18%	株式会社リゾート&メディカル	4,000,000	13.76%
日本証券金融株式会社	1,624,400	5.76%	日本証券金融株式会社	1,624,400	5.59%
株式会社シーアンドフレア	1,000,000	3.54%	株式会社シーアンドフレア	1,000,000	3.44%
株式会社SBI証券	862,000	3.06%	株式会社SBI証券	862,000	2.97%
A-1 合同会社	816,900	2.90%	ロート製薬株式会社	850,000	2.93%
株式会社夢真ホールディングス	508,600	1.80%	A-1 合同会社	816,900	2.81%
マネックス証券株式会社	487,800	1.73%	株式会社夢真ホールディングス	508,600	1.75%
野村証券株式会社	437,100	1.55%	マネックス証券株式会社	487,800	1.68%
大和証券株式会社	388,800	1.38%	野村証券株式会社	437,100	1.50%
日野洋一	279,300	0.99%	大和証券株式会社	388,800	1.34%

(注) 1. 上記の割合は、小数点以下第3位を四捨五入して算出しております。

2. 募集前の大株主及び持株比率は、平成25年12月31日時点の株主名簿を基準としております。

8. 今後の見通し

現在のところ、平成26年2月13日に発表いたしました平成26年12月期の通期業績予想に変更はありません。

9 企業行動規範上の手続きに関する事項

本資金調達には、①希釈化率が25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、東京証券取引所の定める上場規程第432条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは

要しません。

10. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績（連結）

	平成23年12月期	平成24年12月期	平成25年12月期
連結売上高	199百万円	207百万円	230百万円
連結営業損失	195百万円	168百万円	234百万円
連結経常損失	207百万円	183百万円	280百万円
連結当期純損失	184百万円	186百万円	288百万円
1株当たり連結当期純損失	9.17円	8.80円	10.83円
1株当たり配当金	0円	0円	0円
1株当たり連結純資産	9.28円	14.45円	33.64円

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況（平成25年12月31日現在）

	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	28,209,820株	100%
現時点の転換価額（行使価額） における潜在株式数	439,100株	1.57%
下限値の転換価額（行使価額） における潜在株式数	－株	－%
上限値の転換価額（行使価額） における潜在株式数	－株	－%

(3) 最近の株価の状況

① 最近3年間の状況

	平成23年12月期	平成24年12月期	平成25年12月期
始値	9,190円	93円	97円
高値	10,550円	179円	604円
安値	4,980円	46円	86円
終値	5,300円	96円	345円

(注) 1. 各株価は、株式会社東京証券取引所マザーズ市場におけるものであります。

2. 当社は、平成24年7月1日を効力発生日とし、1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。

② 最近6か月間の状況

	8月	9月	10月	11月	12月	1月
始値	215円	338円	425円	381円	360円	345円
高値	308円	459円	529円	399円	360円	383円
安値	207円	320円	360円	351円	275円	315円
終値	293円	459円	385円	365円	345円	349円

③ 発行決議日前日における株価

	平成26年2月27日
始値	430円

高 値	430 円
安 値	380 円
終 値	395 円

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

・第三者割当による第4回新株予約権の発行

割 当 日	平成22年11月1日
発行新株式予約権数	260 個
発 行 価 額	新株予約権1個につき2,800円
発行時における 調達予定資金の額 (差引手取概算額)	198,422,500円(差引手取概算額)
割 当 先	マイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社
募集時における 発行済株式数	180,542株
当該募集による 潜在株式数	当初の行使価格(8,325円:固定)における潜在株式数:26,000株 行使価格上限値 - 行使価格下限値 -
現時点における 行 使 状 況	26,000株
現時点における 調達した資金の額 (差引手数料概算額)	198,422,500円(差引手取概算額)
発行時における 当 初 の 資 金 使 途	① 新規サービス構築のための人件費 ② 新規サービス展開に係る営業経費 ③ DNA検査需要の増加に対応する為の検査機器等の購入 ④ DNA検査需要の増加に対応する為の検査施設の増床
現時点における 充 当 状 況	① 新規サービス構築のための人件費 ② 新規サービス展開に係る営業経費 ③ DNA検査需要の増加に対応する為の検査機器の購入 ④ DNA検査需要の増加に対応する為の検査施設の増床 上記項目に対して、調達した資金の全てを充当しております。

(注) 当社は、平成24年7月1日を効力発生日とし、1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。上記表中の株数は、株式分割前の株数を記載しております。

・第三者割当による行使価額修正条項付き第5回新株予約権

割 当 日	平成24年8月13日
発 行 価 額	5,000,000円(新株予約権1個につき100円)
発行時における 調達予定資金の額 (差引手取概算額)	370,050,000円(差引手取概算額)
割 当 先	マッコーリー・バンク・リミテッド
募集時における 発行済株式数	21,154,200株

当該募集による潜在株式数	当初の行使価格（78円）における潜在株式数：5,000,000株 行使価格上限値－ 行使価格下限値（50円）における潜在株式数：5,000,000株
現時点における行使状況	5,000,000株
現時点における調達した資金の額（差引手数料概算額）	370,050,000円（差引手取概算額）
発行時における当初の資金使途	① 検体バンキング設備の買い替え及び増設に係る設備投資資金 ② 細胞バンキングの事業化に向けた細胞調整技術の取得及び人材育成費 ③ 検体保管管理システムのカスタマイズ費用 ④ 個人向け細胞バンキング、遺伝子検査や医療機器販売に向けた営業体制の強化のための人件費及び営業経費 ⑤ 医療機器販売の拡充に向けた仕入資金
現時点における充当状況	① 検体バンキング設備の買い替え及び増設に係る設備投資資金 ② 細胞バンキングの事業化に向けた細胞調整技術の取得及び人材育成費 ③ 検体保管管理システムのカスタマイズ費用 ④ 個人向け細胞バンキング、遺伝子検査や医療機器販売に向けた営業体制の強化のための人件費及び営業経費 ⑤ 医療機器販売の拡充に向けた仕入資金 上記項目に対して、調達した資金の全てを充当しております。

・第三者割当により発行される新株式

発行期日	平成25年10月7日
調達資金の額	699,925,800円（差引手取概算額：652,125,800円）
発行価額	1株につき358円
募集時における発行済株式数	26,254,720株
当該募集による発行株式数	1,955,100株
募集後における発行済株式総数	28,209,820株
割当先	株式会社夢真ホールディングス 558,600株 株式会社夢テクノロジー 279,300株 A-1 合同会社 837,900株 日野洋一 279,300株 に対する第三者割当方式
発行時における当初の資金使途	① 遺伝子解析設備の増強資金 ② アニマルステムセル社完全子会社化資金 ③ 検体保管施設拡充資金 ④ 本社移転及び運転資金
発行時における支出予定時期	① 平成26年1月～平成27年12月 ② 平成25年10月 ③ 平成26年1月～平成27年12月

	④ 平成 25 年 10 月～平成 26 年 2 月
現時点における 充 当 状 況	① 遺伝子解析設備の増強資金（一部充当済み） ② アニマルステムセル社完全子会社化資金（全て充当済） ③ 検体保管施設拡充資金（一部充当済み） ④ 本社移転及び運転資金（一部充当済み） 上記項目に対して、調達した資金は予定通り充当しております。 一部未充当分につきましては、予定時期通りに充当予定です。

株式会社メディビックグループ普通株式発行要項

1. 募集株式の種類 株式会社メディビックグループ普通株式
2. 募集株式の数 850,000 株
3. 募集株式の払込金額 1株につき356 円
4. 払込金額の総額 302,600,000 円
5. 増加する資本金及び資本準備金の額
増加する資本金の額は、151,300,000 円（1株につき178円）とし、増加する資本準備金の額は、151,300,000円（1株につき178円）とする。
6. 募集方法
第三者割当の方法により割り当てる
ロート製薬株式会社 850,000株
7. 申込期日 平成26年3月17日
8. 払込期日 平成26年3月17日
9. その他
 - (1) 会社法その他の法律の改正等、本要項の規定中読み替えその他の措置が必要となる場合には、当社は必要な措置を講じる。
 - (2) 上記各号については、金融商品取引法による届出の効力発生を条件とする。

以上